

# 福島第二原子力発電所における原子力防災訓練（緊急時演習）の実施について【概要】

福島第二原子力発電所では、平成25年2月14日から15日にかけて、原子力事業者防災業務計画並びに原子炉施設保安規定に基づく「平成24年度 福島第二原子力発電所 原子力防災訓練（緊急時演習）」を実施しました。  
この訓練は、原子力災害発生時に、事態の収束・復旧に向け、原子力防災組織があらかじめ定めた機能を有効に発揮できることを確認するために年1回実施するものです。

## 【訓練のシナリオ】 以下の過酷な条件を想定

福島第二の全プラント（1～4号機）は冷温停止中のところ、  
・福島県浜通りの地方で震度6弱の地震が発生し、外部電源が喪失。  
・その後、震度6強の地震による津波の襲来を受けて、「交流電源を供給する全ての設備の機能」、「海水を使用して原子炉施設を冷却する全ての設備の機能」、及び「使用済燃料プールを冷却する全ての設備の機能」が喪失。

## 【訓練項目】

- 緊急呼び出し訓練
- 避難誘導訓練
- 原子炉・使用済燃料プールへの注水訓練
- 緊急被ばく医療訓練
- 通報訓練
- モニタリング訓練
- 電源車による電源確保訓練
- 水素爆発防止訓練
- ガラ撤去等訓練 等

（参加人数：2日間で延べ約660名）

## 主な訓練の実施内容

### ◎電源車による電源確保訓練

全交流電源喪失時に、原子炉・使用済燃料プールへの注水や除熱機能を維持するため、電源車を利用して必要な電源を供給する訓練



電源車からのケーブル引き出し（2号機）



ケーブル接続箱へのつなぎ込み（2号機）

### ◎原子炉・使用済燃料プールへの注水訓練

消防車を使用し、原子炉や使用済燃料プールへ淡水及び海水の注入を行う訓練



原子炉建屋への送水準備（2号機）



原子炉建屋への送水（2号機）

### ◎ガラ撤去等訓練

津波により道路上に散乱したコンクリート片等（ガラ）の障害物を重機で撤去するためのルート確認を行う訓練



現場へ向かう重機



現場（原子炉建屋周辺）でのルート確認

### ◎緊急被ばく医療訓練

原子炉建屋内において、放射性物質による汚染を伴う負傷者の発生を想定し、汚染測定、除染、応急処置、急患移送車による搬送等を行う訓練



医療班による応急処置



急患移送車による搬送